

## 常盤塾

日時：2015年5月9日（土）10：00～13：00

場所：新国際ビル MBF ハウス

文責：常盤塾ライター 福井悠太

メンバー：常盤さん 安梅さん 松山さん 丸山さん 上原さん 大下さん 松崎さん  
今田さん 出井さん 古城さん 古川さん 佐藤さん

### （1）常盤先生の話

#### ●常盤さん

日本も観光立国だというなかで、お客さんをどのようにもてなしたらいいか。

ドイツ人が日本に来た時、彼らは町の路地や小道に関心を持っている

中国やタイの人は富士山、オーストラリアは北海道、台湾の人は温泉が好きなど関心が違う  
一様にツーリズムとまとめてとらえるのは、違うのではないか

JTB の社長の話を聞いて見ると、フランスでは凱旋門、イギリスは～パークなどがあるが、日本には目玉がない

この前、JTB に GW 直前に行って「GW に行くところ、どこかありませんか？」といたら、  
なかった。

面白いところについてみようと、2,3,4 と違うところに行った。

まず、幕張にいった。

次に王子界限に行った。飛鳥山公園の近くに、紙の博物館があって、子供が遊んでいた。

根津のほうへ行った。根津神社に行ったら、老人会のおばさんたちがフラダンスをやっていた。  
あれは、若い人のダンスだと感じた。その後、お茶屋さんに行ったら、3代続いているらしく、  
商売とはどういうことかというのがわかった。

幕張の路地でサクラソウを楽しんだ。

幕張でレンダコをあげているおじさんがいた。200メートル以上の高さまで達していた。

一つは龍のタコで、とても綺麗であった。他は、あまり綺麗に上がっていなかった。

おじさんの話では「タコを見るだけでなく、タコの周りを見ないといけない」と言っていた

200メートルの上空では、地上からの風と空からの風のぶつかり合いなどがあり、それに中有木  
しないとうまくタコを上げることができない。

趣旨は「モノを見る時は、モノの周りも見ないと本質を見失う」ということ

二胡（中国の楽器）の話

上海で二胡を勉強した女性のお父さんがくれた日記帳に、「二胡をもっと究めたければ、二胡の

周りのものに気を配りなさい」と書いてあった。

そこから、彼女は二胡の弾き方とかだけでなく、周りのことをしっかり考えるようになった。

「多様性」

これが、いろんな物事を考える時に大事になる。

自分の多様性の糸を探し出して、自分の本質を知る

また、多様性の原点は何かと考えた時に、個性をしっかりと見つめ直すことが大事。

多様性と対話する時に、自分の個性を知らないといけない

今変わって行く胎動がいろんなところにある。

今限界期にある。そのため、変化の時のために、いろいろ仕込んでおく。

例えば、グローバル化が進んでいるが、企業はこれに備えると同時に、自分たちの個性、日本の個性を見つめ直す必要がある。

何か一つの物事が目に見えるようになるには時間がかかる。

さらに、見えるようになってからでは、遅いことが多い。

周りを見て、本質を知らないといけない。

人工知能や IT など、ものづくりも変わってきている。

アメリカはものづくり回帰をしている。

部分だけではなく、全体を見る必要がある。

囲碁や将棋をやる時、詰将棋など部分でやるのは、日本人は得意。

しかし、全体の勝負になると中国人などに負けることが多い。

部分で勝って、全体で負けることが多い。

例えば、3D プリンターを開発したのも日本人だが、応用では他の国が勝ってしまっている。

人間の種類には、I 型、T 型がある

I-偏在(部分)

T-遍在(全体)

この二つを編集しないとけない。

I と T を一つの仕事にしていく、プロデューサーが必要。

●片平さん

すごいエネルギーですね

●常盤さん

疲れたけど、面白いところはいっぱいある。

東京なんて下町はとても面白い

六本木や丸の内より、下町の方がよい。ヨーロッパの人はそういうところに目を向けるのがうまい。

●片平さん

また彼らは情報共有がうまい

●常盤さん

モノの周りを見ろということは、昔から老子か孔子かで言われてきた。

●古川さん

編集は下手なんですか？

コンテンツはすごいところもある。町の活性化などにもつながる。

●常盤さん

良い球はあるけど、編集が下手なのかもしれない

「キュレート」という言葉が出てきたが、この能力が大事

●古川さん

サンフランシスコは観光の聖地だが、たいしたモノはない。

しかし、人気である。

●上原さん

目玉がないという話では、台湾人が温泉に行く際に、強く温泉に行きたいと思っているわけではない。

目玉がないと観光客を集められないという流れはあるが、そういう流れもなくなるのではないか。

●古川さん

良いコンテンツさえあれば、それを探してどう見せるかが大事。

コンセプトを言葉にしないとイケない。

「キュレーション」をして、言葉が出てくると人が集まる。

●常盤さん

日本は変わろうとしているが、ビジョンがない。

安倍さんの成長戦略のことでも、矢を撃つ方向が大事。

何かを始める時、最優先にしなければいけないことは、ヴィジョンをもつこと

心の中に湧いてくるイメージを可視化すること

ダメなのは「顧客満足」「地球に優しい」など表面だけの言葉。ヴィジョンを持てば、良い言葉になる。

方向性が大事。イメージを持たないと部分を全体にできない。

●片平さん

像に関しては、人の表情をしっかりと考えた絵を描かないといけない

財布をどう開けさせるかばかり考えている

●常盤さん

●松崎さん

暮らしが見えてこないことに関しては、

テレビ番組で取り上げたところが、観光で多くの人が入ってきたので、一部締め出した。

「NO」と言える、暮らしをしっかりと取れることができている。

グローバルにそういうことが始まってきている。

暮らしにあった文化

●上原さん

スカイツリーができた時、商店街はお金が落ちると当初考えられていたが、観光客は周辺のコンビニや店で買うので、全く活性化しなかった。

目玉があればいいということではない。

●常盤さん

灯台もと暗しだね。

●松崎さん

銀座は変わってきている。

●片平さん

銀座に関しては、地元を愛している。銀座で多くを消費している。

自分ごとで、街を作っている。

湯布院も二人の熱い男の思いをそれをみんなで共有した。

インバウンドは怪しい。Whyがない。

胡散臭いまちづくりはやばいんじゃないか

## (2)「21世紀の資本」

発表資料参照

●古城さん

日本もゴーンさんが来てから、高い賃金の意識が始まった。

●安梅さん

お金をもらいすぎても、幸せになれないという研究結果が出ている  
1000万ずつをシェアしてもらった方がいいと思う

●古城さん

人より多くもらうことは、気持ちいい名誉であるという面もある

●松崎さん

個人の財布だけでなく、国の財布を考えると、今までの財政理論とピケティの理論は何が違うのか。

国の理論ということを見ると、規範理論とどう絡むのか。

●上原さん

経済学は実証研究という側面が強いが、ピケティの本は彼の規範に対する価値観が入っている。  
それを支持するために、実証している。

●松崎さん

医者の給料や研究員の給料なども難しい

●安梅さん

アメリカの医者は給料が高い

●常盤さん

規範は法律と違うため、歯止めになるのは国民自身  
そこらへんがすごく難しい

いい例かわからないが、投票率がすごく低い

国民が民主主義を唱えながら、民主主義に参加していない

そのメカニズムを作っていないといけない

政治家は「皆さんに選んでいただいた」と言っているが、選んでもいない  
議論してもなかなか答えが出てこない

●上原さん

自分の会社の社長が、給料をもらいすぎているということはなかなか言えない。

●松崎さん

日銀は昔は、近江商人の規範と言っていた。

●常盤さん

ぴったり決めると、共産主義になってしまうし、難しい。  
幸せとは何か？という問いと同じ

●上原さん

給料とは、ベンチマークである。

●今田さん

貴族が社長で、違う階級のようにになっている。

●常盤さん

もう少しすると、国民も騒ぎ出す

●古城さん

マクドナルドのような、、、

●常盤さん

ROE と言い過ぎ。あれに対抗する尺度を作れないのが問題

●佐藤さん

来年から大学の医学部の制度が変わる。アメリカの留学などのために  
アメリカでは臨床を重視するが、日本でももっと早くから臨床、専門を始めるようにする。

アメリカと日本では、システムが違うのに、現在アメリカのシステムを日本に持ち込もうとして  
いる。これが、グローバルスタンダードをいうように主張してくる。

●松崎さん

システムは強力で、大抵の人は思考停止にさせられる。

●佐藤さん

現役だと18歳だから、自分でしっかり考える時間の余裕がなく、教育が始まる。

●常盤さん

我が社の文化をしっかり持っているかどうかを大事

それをやり抜くことができていることに問題があるのではないか

●古川さん

関心があっても触れる機会がなくなっている

●上原さん

MBAを取ることができるシステムを取れるようにしたのも、そうしないと海外から留学生が来てくれないから。

●常盤さん

JASRACをつけないと、売れないという圧力と同じ

●上原さん

優秀な人が欲しいという大学のニーズがあり、現地も優秀な人を送りたいが、認証がないと行かせづらい。

アメリカの名門大学はその名前で生きていけるが、有名でないと認証がないと

●佐藤さん

今の教育制度を一から見直すくらいが必要

●常盤さん

企業もこういった議論をしないといけない

目標もアメリカ式になって、能力評価ばかりしている。

それで、企業が良くなっているか。

●古川さん

ザポスという会社は、給料は高くないが、入りたいと感じている人がすごく多い。

●上原さん

企業の多様性は企業を好きな社員が多いこと  
給料だけで集められた社員は画一的である。  
グローバル人材という同じような人を育てようとしている

●片平さん

やはり、ヴィジョンが必要。  
ここの卒業生は5年後こうなっているんだよと言えるようなヴィジョンが必要  
就職でも同じで、人気企業にはお金や人気を目当てでくる学生がくる。  
こういった学生をいかにハジくか。

マイナビの～人連れて行くと～円というシステムがあって、腹が立った。  
ヴェブレンの「有閑階級の理論」でもそもそもの起源に腹が立った。  
略奪で奪ったものを蓄積し、有用性や消費ではなく、「ほらね！」と魅せつけるために持っている  
世阿弥は、金の有無ではなく、上手いか下手かで判断するというのがすごい。  
我々はそういった中で生きている。

イギリスは少し変わっていて、技術を売って知識を売らない。知識を持つ人が一番偉い。  
日本の文化を理解している

●常盤さん

文化を理解してもらいたいという議論自体が間違っている。彼らは彼らの文化で生きて、我々は  
我々の文化を生きればよい  
同じにしようとするのが間違っている。  
行動は染み付いて出てくるものである。  
そのため、日本も違いを主張しないとイケない。

●片平さん

中国の人でも日本に住むとすごく魅了される。

●安梅さん

中国では、幼い頃から中国が中心で素晴らしい国だと教育される。  
日本にはそれがないから、主張できない。

### (3) 常盤塾のあゆみ



●古城さん

誤字脱字はチェックしてもらえるの？

●今田さん

タダでやると、責任はもてないらしいです。

冊数をいくりにするか？

一人 50-60 部くらいでいいのではないか。

800 部にさせていただきます。

費用は、35 万くらい。

次の一週間(5/16)で、各自で校正をかいて今田にメールする。

知人の校正者に最終チェックを頼む。

一人一万で、残りは常盤塾の通帳から出す。